

国際

こだいら



2007年
No.52

Kodaira International Friendship Association News



2007年7月8日（日）

こだいら国際交流フェスティバル

異文化交流・世界はひとつ



こだいら国際交流 フェスティバル



7月8日(日)の七夕の笹竹で飾られた学園西町地域センターにて、こだいら国際交流フェスティバル2007が開催されました。うす曇りの空からは時々陽も射して、お祭りにちょうど良い過ぎやすいお天気でした。入り口を抜けた中庭に並ぶ世界の料理・模擬店からは、美味しそうな匂いが漂って、「お腹が空いても大丈夫!」と、来場者にしっかりアピールしていました。

今年は初めての企画として、小林市長を囲んでのタウンミーティングが開かれました。「国際交流」という、そのものズバリのテーマに基づき、様々な立場の人から率直な意見が交わされ、このような対話の場が益々必要であると感じさせられました。

2回にわたり開かれたビッグイベント、ウクライナの歌姫ナターシャ・グジーさんのコンサートでは、日本語

の歌もまじえた10数曲が披露され、満場の客席が息をのんで惹きつけられました。

子ども達にとってのお待ちかね、クラウンショーとハラハラドキドキのお化け屋敷も大盛況。また、いけばな体験コーナーやおりがみコーナーでは、真剣な眼差しで作品づくりに挑戦する外国の方や、キラキラ瞳を輝かせた「子どもアーティスト」達の姿が見られました。

魅力溢れる催しは、他にもまだまだありました。日本語学習者によるスピーチ大会、お茶点での体験もできるお茶席、プラ板を使いキーホルダーなどを作るクラフトコーナー、本格的中国茶やソフトドリンクでくつろげるドリンク&おしゃべりコーナー・・・。

「体が2つも3つもあったなら!」と思わずにはいられない、盛り沢山のフェスティバルでした。

平成19年度ボランティア連絡会幹事紹介 (役職、五十音順)

- ・代表幹事 江連 紀子 (世界の料理)
- ・副代表幹事 中谷 正明 (情報提供コーナー)
- 各グループの幹事は次のとおりです。
- ・機関紙発行 荻野久美子
- ・交流サロン 鈴木 千穂
- ・国際交流パーティ 加藤 豊
- ・国際こどもクラブ 村木加代子
- ・日本語会話教室(月) 佐々木恵子
- ・日本語会話教室(金) 住山 暁子
- ・日本語会話教室(土) 大竹 徳子
- ・文化紹介事業

平成19年度協会役員・評議員の紹介 (平成19年7月1日現在)

- 理事会
- | | | | | | |
|------|-------|-------|-------|-------|--|
| 理事長 | 山之内照雄 | | | | |
| 副理事長 | 窪田 治 | 大塚 倫治 | 安部 泰人 | | |
| 理事 | 土屋 国和 | 滝島 和好 | 神石 實 | 大森 道夫 | |
| | 傍島 浩之 | 奥村 秀 | 本元 久之 | 辻 俊樹 | |
| 監事 | 鈴木 忠司 | 北 厚美 | | | |
- 評議員会
- | | | | | | |
|-----|--------------|-------|---------------|-------|--|
| 議長 | 高杉 喜平 | | | | |
| 評議員 | 大野 照蔵 | 朱 海慶 | アモアベン・クアシ・チェイ | | |
| | ベル・デズモンド・トマス | 久家富美子 | 渡辺 章人 | | |
| | 山口 伸一 | 福川 孝一 | 加治屋さわみ | 山口 嘉史 | |
| | サイモン・クレイ | 渡辺 道夫 | 江連 紀子 | | |
| | 中谷 正明 | 小林 秀雄 | 小林 勝行 | | |

平成18年度収支決算 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

○収入の部		(単位 円)
科目	決算額	
賛助会費収入	1,455,000	
補助金収入 (市補助金)	15,150,000	
寄附金収入	7,000	
積立金繰入	0	
事業収入	6,366,455	
雑収入 (預金利息等)	5,815	
前年度繰越金	2,094,716	
収入合計	25,078,986	

○支出の部		
科目	決算額	
事業費	9,490,864	
国際理解及び国際親善の普及事業	5,671,980	
地域における友好交流事業	1,132,474	
地域や日本文化並びに外国都市や外国文化の紹介事業	402,283	
国際交流情報の収集及び地域への情報提供事業	1,845,091	
その他協会目的達成事業	439,036	
管理費 (管理運営費)	13,390,778	
積立金	0	
予備費	0	
支出合計	22,881,642	

インタビュー 中国

現在上海と東京を行き来する生活を送りながら、水墨画・書道・篆刻・版画のほか、俳句・漢俳・詩・随筆や舞台演出など多岐にわたって活躍されている朱海慶さんに伺いました。気さくで親しみやすいお人柄です。

◎なぜ日本に来ることになったのか教えてください。

中国の外の世界を見てみたかった。で、父が仕事で日本語を使っていて身近に感じていたし、近代化に成功した国の見本としても興味があったこともあり、日本に留学しました。はじめは文学を学ぶつもりでしたが、奥村土牛の絵を観て好きになって、武蔵野美術大学の日本画科へ入学しました。

◎日本に来て驚いたことは何ですか？

挨拶程度の日本語しか知らずに来たので、最初全然言葉がわからないことに驚きました。鳥でも日本語で喋ってるかんじがしましたよ。あと24年前だったから、東京の交通の便利さにはビックリしましたね。

◎日本語がお上手ですが、語学上達の秘訣は？

言葉勉強するんだったらやっぱり“ずうずうしい人”になるべきですよ。食欲に、めちゃくちゃでも恥ずかしがらず思い切ってどんどん喋ってみる。これ絶対必要！わからなかったら聞いて説明してもらおう。ちょこっとメモしたり、テレビや本から吸収したりね。今でも僕、暇があれば辞書で遊ぶんですよ。ホント面白いよ。あ、この言葉はこういう意味かってね。

◎日本に来て良かったことは何ですか？

すべてですね。多分この先、他の国で日本ほど長く居

ることはないと思います。僕にとって第二のふるさとですよ。大学の恩師をはじめ多くのいい人に巡り会えたり、沢山の親切も受けました。

◎これから活動していきたいことを教えてください。

今まで日本で受けたご恩返し of 気持ちを込めて、日本の良いものを中国に、また中国の良いものを日本に、双方の文化紹介をこれからもずっとしていきたいです。文化交流を通してお互いに理解を深められたらいいですね。

◎9月からのKIFAでの篆刻教室について教えてください。

中国では書道・篆刻・水墨画のどれもができて一流といわれるんですよ。そんな篆刻について学びながら全5回の講座で、自分の名前のはんこはもちろん、十二支など動物の図柄など色々彫ることができます。型もあるし、割と柔らかい二種類の石を使うので大人なら誰でも大丈夫。各人のペースに合わせた進め方ですが、彫るのが早い人なら5～6個は作れます。どうぞ気軽な気持ちで参加してみてください。

◎最後に、日本の人々へメッセージをお願いします。

仲良くしよう！同じアジアの国だもの。メディアからではなく、自分の目で見て、肌で強く感じて、本当の中国を知ってもらいたいですね。とにかく一度、先入観なしで中国を訪れてみてください。行ったら多分ね、クセになっちゃうよ。



《国際こどもクラブ 異文化理解講座》

ミャンマー

6月23日（土）の異文化理解講座に取材でお邪魔しました。この日は、講師に日本の児童教育について勉強されているティダ・ウェイさんをお招きしました。

まずはじめは、ミャンマーの国や風土について…季節は夏・雨季と日本の冬にあたる乾季の三季で、この時期のミャンマーの気温は大体42℃位と聞いて、みんな想像もつかない暑さに驚いていました。季節の話聞いた児童から「雪は降らないのですか？」と質問がでて、ミャンマーでも北の方は降る事もあるけれども、一年中ほとんど温かい気候のマンダリー出身のティダさんは日本に来てから初めて雪を見たと話していました。

子供達は、ミャンマーの民族の中でも特有のバダオ民族（首長族）の写真や、紙幣や食べ物（お米やラベというお茶の葉を発酵させた物）に興味津々でした。この日、ティダさんが伝統的なお菓子オウノウ・チャウチョウ（オウノウ＝ココナツ・チャウチョウ＝ゼリー）を作ってきて下さって、みんなでいただきました。牛乳カンのような



な懐かしい味がして美味しかったです。

おやつのは後は、ピンピンチャ（日本でいうジャンケン）とニャオピンタシという鬼ごっこのような遊びをしました。もう少し時間があつたらと名残惜しい気持ちの中、最後はみんな元気な“ソサバーデ!!”（さようなら）しました。

世界の料理



ペルー料理と ピースアクセサリー

6月20日(水)学園西町地域センター3階の会議室で、ソフィア・ビダルさんを講師にお招きし「ペルー料理とピースワーク」が行われました。

コイル状のワイヤーの先を留めになるように丸く曲げてから、参加の16人のみなさんが童心に返ったように目を輝かせて、テーブルに並べられた素材も形も大きさも様々で色とりどりのビーズの中から、好きな色をベースに数種類のビーズを選んでワイヤーに彩りよく通して完成へ・・・ここが肝心かなめ！といろんなデザインを試行錯誤しながら、みなさん真剣そのものでした。

全員が無事にプレスレットを仕上げられた後は、緊張を解きほぐすもう一つのお楽しみ！ペルー料理の試食…『LOMO SALTADO (ロモ=牛肉の背の部分・サルタド=炒めた、

焼いたの意)』をいただきました。お皿には、よく炒めたジャガイモをしき、その上にんにくの香りの効いたご飯に、たっぷりの牛肉と玉ねぎをトマトでじっくり煮込んで彩りにパセリをちらした一見イタリアンのようにも感じられる煮込みがかけてありました。食べてみると、レモンの酸味が効いてあっさりとした口当りに加えて馴染みぶかい味がして日本人の口に合っていて美味しい！とみなさん嬉しそうに食べていました。レシピに中華しょうゆがあり意外な調味料に驚いていると、ソフィアさんがペルーでは日本の味の素と共にとってもポピュラーな調味料だと教えていただきました。



試食後、ソフィアさんいわく「フリーサイズ&スタイルで付けられる個性豊かな世界でたった一つのプレスレット」を鑑賞して、楽しいひと時の終わりを迎えました。

フランス語講座

「はい、この代名詞は重要です！」「一人称複数形、二人称複数形、三人称複数形…Sは発音しないよ！」「辞書の引き方は、ここより後の単語で引きます。単語の意味がわかれば、文の意味、わかりやすい。ここで学んだ事は外で、すぐ使えるよ。」「話したい人は助動詞は暗記しなければならない。」日本歴12年のポール・エトガ先生は流暢な日本語を媒介語としてフランス語を教えている。フランス語初体験の人でも、わかりやすいと思った。



6月7日から12月6日まで、20回にわたりフランス語入門講座が開かれている。今日はその2回目。受講生の老若男女22名は、先生の一言も聞きもらさないぞ！とばかりの真剣な姿勢。全員、かたわらには、新しい仏和辞典。初めての言語に対する緊張が伝わってくる。しかし、先生の方は皆の緊張をよそに教科書に沿って、面白おかしく授業を進めていた。そのアンバランスな雰囲気がなんと心地よかった。フランス語の優しい響きのせいだろうか？

終わった後、何人かにインタビューしてみた。むずかしくて、さっぱりわからないと言う人。昔、大学で少し学んだという人。32年間、日本にいたため発音が日本人ばくなくなってしまうと言うアイルランドの男性。みなさん、「どうでした？」の質問に渋い表情だったものの瞳は輝き、やる気に満ちていた。頑張れ！

編集後記

梅雨で、うっとうしい季節ですが、ここKIFAでは、ワイワイ楽しく機関紙づくりに励んでいます。これが、皆さんの手に届く頃は、夏も本番になっている事でしょう。この夏、どんな体験をするのか楽しみですネ！ (優)

日本の家庭料理講習会 6月6日(水)

今回は韓国、モンゴル、ペルー、ガーナの方々9人と、『きのこソース煮込み』と『和風ソース大根おろし付き』の2種類のビーフハンバーグ、簡単キャベツサラダ、えのきだけと大根、油揚げのみそ汁を作ったのですが、うれしいことに男性3人の参加もあり、楽しく賑やかな講習会となりました。

ハンバーグはどの国でも作られているポピュラーな料理かと思いきや、お隣の韓国ですら「スーパーで冷凍のものを買ってきて食べたことがある程度。」のようで「日本のハンバーグは具沢山で柔らかくって大好きになりました。」という方が多くいました。

調理が始まると、料理用語が難しく、大きじって何？みじん切りってどう切るの？など次々と質問がとび出します。「このきのこ、日本ではえのき、しめじと呼ぶんですね。」と、みな覚えたことをメモ。しその葉と大根おろしは見たことがない人もいて「絶対おいしい味じゃないと思います。」なんて大胆予想も！

いよいよ料理完成。腹ぺこだったせいもあり、みんな2種類のハンバーグをペロリと平らげました。「どっちが好きだった？」の問いにも「両方！」との答えが。



心配された大根おろしも皆さんお気に召したようです。「子供と作ってみます。」「今度来客に出すつもりです。」「ポン酢は便利ですね。」「この講習会が毎月あるといいのに。」こんな感想が聞かれました。

発行日 平成19年8月1日

発行 小平市国際交流協会 編集 機関紙グループ

小平市学園西町2-12-22 学園西町地域センター3階

〒187-0045 ☎042-342-4488/FAX.042-347-3003

小平市国際交流協会のインターネットもご利用ください

E-mail : info@kifa-tokyo.jp Homepage : http://www.kifa-tokyo.jp/